

開梱作業を容易にする包装材

(特許第5353951)

■従来技術

〔概要〕

一般的に製品の包装は、包装材削減と輸送効率UPの為に、緩衝材の厚みを薄くして、製品と梱包箱内側の空間を極力少なくする必要があります。一方で、緩衝材の厚みを薄くすると、商品と梱包箱内側の空間が狭くなります。この空間が狭いと、商品を取り出すために手を出し入れ出来ず、一人での作業が困難になるなど開梱作業に問題が出てくる場合があります。

〔課題〕

そのため、**包装材を削減すること**と、製品を梱包箱から取り出すことを容易にする**開梱容易性**を同時に満たす包装材を提供することが課題となっていました。

従来の包装の一例



→ ←
手を入れるスペースがない

■技術内容

本特許の技術では、製品を取り出すために手を入れるスペースが無い場合であっても、容易に且つ安全に製品を取り出すことができるように、製品を持ち上げる**取手付き袋**を採用しました。さらに、その袋の取手を開梱者（お客様）が容易に認識できるように、**緩衝材の取り出しに連動して取手が立ち上がる**ようにした仕組みが特徴の技術です。



①緩衝材が取り出されると、②取手付き袋の取手が立ち上がるため、③簡単に製品を取り出すことができる。

■特徴

開梱容易性を損なうことなく緩衝材の厚みを薄く(20mm)することができました。弊社では包装材の体積を従来に比べて約20%削減することができました。

■受賞歴

国内：2012年日本パッケージコンテスト「適正包装賞」

海外：2013～2014年世界パッケージコンテスト「ワールドスター賞」

■活用例

製品の包装、包装材の設計